

群馬県立女子大学 FLRI Newsletter

Foreign Language Research Institute

外国語教育研究所だより

Vol.38 2021.3.26

外国語教育研究所は群馬県における外国語教育の拠点として、外国語教育の充実、地域社会への貢献、グローバル人材育成及び国際交流の促進に寄与することを目的として、様々な事業に取り組んでいます。

2020年 明石塾活動報告 (10月～2月) ～「英語」と「学問」のシャワーを満喫～

2020年8月から始まった「明石塾」も、2月27日(土)の修了式をもって終了しました。県内14校から男子5名、女子15名、合計20名の高校生たちが、研究員による英語研修、本学教授陣による講義、明石康名誉塾長オンライン講義など、密度の濃い研修を受け、英語力だけでなく、多様な価値観の受容する態度、多角的なものを見方等を身に付け、一人一人が成長することができました。19期生が将来、明石塾の基本理念にもあるような「国際的な視野と高い志、国際舞台で堂々と発信し行動できる力を備えた人材」として活躍してくれることを期待しています。

2020年 明石塾 研修日程 (10月～)

土曜開催	午前研修 10:00～12:30	午後研修 13:30～16:00
10月17日	英語研修⑤ 研究員 Timothy Population Growth	講義① 文学部国文学科 宮内洋教授 「大学で学ぶ〈貧困〉の基礎的理解」
11月7日	英語研修⑥ 研究員 Mark Environmental Issues	講義② 文学部英米文化学科 笠井俊和准教授 「同時代史料にみるカリブの海賊」
11月14日	英語研修⑦ 研究員 Timothy / Harry / Dermot Globalization and How It Affects Japan	講義③ 国際コミュニケーション学部 小笠原奈保美教授 Neal Snape教授 “Understanding English Vowels”
11月21日	英語研修⑧ 研究員 Dermot Problems Facing the World in the 21st Century	講義④ 国際コミュニケーション学部 原谷直樹准教授 「合理と心理の戦略的行動」
12月12日	講義⑤ 群馬学センター 松浦利隆教授 「群馬県紹介」	講義⑥ 文学部総合教養学科 山崎隆広准教授 「メディア論入門 日本のテレビCMを手がかりに」
12月19日	英語研修⑨ 研究員 Dermot U.N.Mock Debate	グループ討論① 町田副所長 「どう生きていく？」
1月9日	成果発表会準備①	グループ討論② 町田副所長 「成功とは何か？」
2月6日	成果発表会準備②	集団討論 町田副所長 「山登り型?いかだ下り型？」
2月27日	成果発表会リハーサル	・成果発表会 ・修了式

成果発表会及び修了式

本学教授陣による講義や、研究員による英語研修の成果発表を保護者に公開して行いました。入塾当初とは違い、堂々と英語で発表する姿から、この半年間の成長を見ることができました。

発表会後、修了式が行われ、小林良江塾長は、「19期生の横のつながり、絆を大切にしたい」と激励し、塾生を代表して板寺貴史さんが「全力でやり抜いたこと、塾生であったことを誇りとし、前へ進む」と答辞を述べました。修了式後、塾長との懇談会では、それぞれが自分の思いを語りました。



成果発表の様子①



成果発表の様子②



板寺貴史さん(樹徳高校)による答辞



小林塾長と卒塾生の懇談

初代所長・明石康先生と小林良江所長が懇談 ～多様な考え方を受け入れて～

初代外国語教育研究所長である明石康先生（公益財団法人国際文化会館名誉顧問）と、現所長の小林良江学長が11月12日（木）に国際文化会館（東京都港区）で懇談しました。

明石先生は、「県立女子大の学生などの若者たちは、広い視野をもって、好奇心をもち、積極的に質問し、自らの道を切り開いて欲しい。多種多様な考え方を受け入れ、他を排除するのではなく、共生できる社会を築いて欲しい」と仰っていました。



初代所長・明石康先生と小林所長

交換留学生在が中国へ帰国 ～県女の思い出は宝物です～

2019年10月から1年間、本学に留学していた2名の交換留学生（中国）が、思い出を語ってくれました。

◇曹嬭さん

（大連外国語大学大学院外国言語学及応用言語学専攻）

群馬県立女子大学に留学して、大切な思い出を作ることができました。大学事務局の皆さんは優しく、生活面、勉強面など、色々とお世話をしてくださいました。また、国文学科の井上先生、安保先生などの先生方のお陰で、日本文学だけではなく、中国文学についても深く勉強できました。心から感謝しています。友達や周囲の方々も本当に優しく、日本で生活は楽しかったです。もちろん、時々心細く感じることもありましたが、色々な方が応援してくれて、充実した留学生活を送ることができました。帰国した今、留学生活を振り返ると、夢のような日々であり、大切な宝物だと思っています。



曹さんとチューターの藤咲さん（英米4年）

◇劉星蕾さん

（蘇州大学文正学院日本語学科）

県女、玉村町で過ごして一番印象深いのは、「人々の優しさ」です。学校の先生や大学事務局のスタッフ、クラスメイト、大家さん、働いていたコンビニの店長さんなど、たくさんの方に色々とお世話になり心から感謝しています。

新型コロナウイルス感染拡大のため、アパートにずっといなくてはならない時も、事務局から励ましのメールがよく送られてきて、常に私の心に寄り添ってくれました。

夏にコロナが少し落ち着くと、チューターさんがよく私を外に誘ってくれました。桐生市の太いうどん、かき氷、イオンの焼き肉。素敵な思い出をたくさん作ることが出来ました。

一人部屋で勉強し、泣いたり、笑ったりしたこと、夜は田んぼのカエルの鳴き声とともに眠ったこと、大学のスタッフ、先生たちの優しさ、友達の笑顔。私がここで見つけた数えきれない宝物、ずっと忘れません。



劉さんとチューターの中山さん（国コミ4年）

留学体験記

長期交換留学 国立高雄科技大学 (台湾)
国際コミュニケーション学部 3年
飯塚菜々 (沼田女子高等学校卒)

私が台湾に留学しようと思ったきっかけは、県立女子大に交換留学で高雄からきていた学生の勉強に対する姿勢や語学力の高さに驚かされ、私も同じアジア圏の学生として負けたくない思ったことがきっかけでした。高雄科技大学の授業のレベルの高さ、周りの学生たちの英語力、発想力の豊かさに驚かされ、毎日必死に勉強しました。もちろん台湾で生活するには中国語も必要なので、中国語習得にも力を注ぎました。さらに、台湾でのコロナ対策の迅速さを肌で感じ、日本の対策との違いを学ぶことができました。

様々な国の友人と共に学び、議論し、一緒に生活すること日本では得られないものを学ぶことができました。半年間色々なことに挑戦し生活できたことで、何でもやり遂げられるという自信を私に与えてくれました。

【国立高雄科技大学について】

台湾の高雄市にある国立の大学です。3年前に「国立高雄科技大学」、「国立高雄応用科技大学」、「国立高雄海洋科技大学」の三大学が合併し、学生規模では台湾第2位の大学です。本学とは2015年から交換留学協定を締結しています。



国立高雄科技大学構内にて



大学の仲間達と

留学体験座談会 ～4年生が1年生に熱い思いを伝える～

留学を経験した4年生が、オンラインによる留学体験座談会を1月21日(木)、25日(月)の2回実施しました。コロナ禍で留学が難しい現状ですが、留学を熱望する多くの1年生が参加し4年生と交流することができました。単なる留学体験談にとどまらず、留学先選定の考え方や、就活とのバランス、留学の経験を今後どう活かすかといったことや、「そもそもなぜ留学をするのか」といった根本的なことまで語り合う有意義な時間となりました。

実施後の1年生からは、「自分の目標が明確でなければ、いくら留学をしても意味がない、どんな環境であれ、自分の目標がしっかりしていれば、学べるということに気付かされました」、「留学の経験を留学後の生活や就職活動にどう活かしたかという点が参考になりました」など、とても前向きな意見が多数出ていました。今後もこういった学年を超えた交流の機会を提供していきたいと考えています。



オンライン座談会の様子①



オンライン座談会の様子②

高等学校連携英語授業 ～4技能調和の取れた英語力育成を目指します～

本研究所では、「英語学習の動機作りと環境作り」を提言し、高等学校と連携して生徒が主体的に学び、表現する場を積極的に提供しています。伊勢崎高校、沼田女子高校、高崎経済大学附属高校に加え、後期から四ツ葉学園中等教育学校も加わり、4校で実施しました。RequestやInvitationの基本表現や、それらに対する受入、断りの表現など、日本語でのやりとりとの違いを学びました。また、四ツ葉学園では、SDGsと関連したテーマを研究員が英語で講義し、その後生徒同士のディスカッション等を行い、それぞれの分野で理解を深めることができました。今後も研究所の人的資源を活かして、高等学校との連携を進めていきたいと考えています。



伊勢崎高校



高崎経済大学附属高校



沼田女子高校



四ツ葉学園中等教育学校

明石杯高校生英語コンテスト ～コロナ禍の中で無事開催～

今年度は、開会式や閉会式を取り止め、午前午後の分散開催、保護者の方の参観をご遠慮いただくなど、感染防止対策を講じて、コンテストを無事実施することができました。

各地区予選を突破した出場者70名は、実力を遺憾なく発揮し、レベルの高いコンテストになりました。来年度も多くの高校生の参加を期待しています。



プレゼンテーション(得田さん)



レシテーション(高橋さん)

2020年明石杯高校生英語コンテスト 結果

部門 順位	プレゼンテーション	レシテーション	スピーチ第1部	スピーチ第2部
1位	得田 乙寧 (中央中等 5年)	高橋 弥瑠 (桐生 1年)	今井 花香 (新島学園 2年)	瀬間 愛李 (前橋西 2年)
2位	菊池 悠真 (四ツ葉学園 5年)	竹内 彩乃 (前橋女子 2年)	アレシオ ユキ (玉村 2年)	飯島百々葉 (市立太田 2年)
3位	松浦 花音 (中央中等 5年)	星野 晃穂 (桐生 1年)	和田 菜花 (前橋女子 2年)	リップル アメリ (中央中等 5年)
4位	大川 夏澄 (高経大附 2年)	細野 友菜 (富岡 1年)	平松 蒼惟 (高崎女子 2年)	
5位	浜名 怜 (ぐんま国際 1年)	竹内 花音 (四ツ葉学園 5年)	塩野 怜玲 (沼田女子 2年)	
6位		金田 仁愛 (新島学園 1年)	デアルメイダ ナオミ (伊勢崎清明 2年)	
特別賞	金井 爽 (高崎女子 2年)	北村珠里亜 (高崎商大附 2年)	細野 由真 (四ツ葉学園 4年)	中島 星南 (東京農大二 1年)



スピーチ第1部(今井さん)



スピーチ第2部(瀬間さん)